

- 問1 奈良時代、人口の増加にともない、農民に分け与える土地である口分田が不足しました。この状況を改善するため、743年に出された、新しく開墾した土地を永遠に自分のものにすることを認めた法律を何といいますか。 (2023年 香川県公立入試 類似)
1. 太閤検地 2. 三世一身の法 3. 班田収授法 4. 墾田永年私財法
-
- 問2 8世紀の聖武天皇の時代、全国に国分寺・国分尼寺を建立して仏教による国家鎮護を図った時期の地方統治の様子を説明した文として、適切なものはどれか。 (2025年 愛媛県公立入試 類似)
1. 地元の有力な豪族が国司に任命され、代々にわたってその土地の支配権を世襲した 2. 地方の農民の中から選挙で選ばれた代表者が、都へ送られて地方行政の指針を決定した 3. 中央の都から派遣された国司が、地方の行政・司法の責任者として諸国を治めた 4. 天皇から直接任命された武士が各地に赴き、年貢の徴収や土地の管理のみを専門に行った
-
- 問3 8世紀の日本が唐の長安を模して平城京を造営した歴史的な背景や目的として、最もふさわしい説明はどれか。 (2020年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 海外からの軍事的な侵攻に備えるため、山岳地帯に防御力の高い城郭都市を築く必要があったため。 2. 鎌倉を拠点とする武士の勢力に対抗し、貴族による伝統的な政治を取り戻す象徴とするため。 3. 土地の私有を認める墾田永年私財法を全国に広め、農民の開墾意欲を向上させるための拠点とするため。 4. 律令国家としての威信を内外に示し、天皇を中心とする中央集権的な統治体制を確立するため。
-
- 問4 律令国家の税制において、戸籍に登録された人々に対する土地の配布と税の負担に関する説明として、当時の制度の仕組みを正しく述べているものはどれですか。 (2023年 長野県公立入試 類似)
1. 土地の不足を防ぐため、口分田は成人した男性のみに与えられ、その代表として戸主が税を負担した 2. 戸籍に登録された者のうち、6歳以上の男女であれば身分に応じた広さの土地が与えられ、収穫に応じた税を納めた 3. 戸籍に記載された家族のうち、労働力となる男性のみに土地が与えられ、布や特産物を納める義務が生じた 4. 6歳以上の男女に土地が与えられたが、実際に税として稲を納める義務があったのは戸主のみであった
-
- 問5 歴史上の出来事を時系列で整理したとき、7世紀初めの「遣隋使の派遣」から、11世紀末の「院政の開始」までの間に起こった出来事として正しいものはどれですか。 (2022年 愛媛県公立入試 類似)
1. 墾田永年私財法が出され、新しく開墾した土地の永代私有が認められた。 2. 参勤交代が制度化され、諸大名が一年交代で江戸と領地を往復するようになった。 3. 承久の乱が起こり、後鳥羽上皇が幕府軍に敗れて隠岐に流された。 4. 地租改正が行われ、土地の所有者に地券が発行され、地価の3%を現金で納めることになった。
-
- 問6 東大寺の正倉院に納められた宝物が、当時の西アジアやペルシアといった遠方の地域の特色を持っている理由として、最も適切な説明はどれか。 (2016年 東京都公立入試 類似)
1. 当時の唐は広大な帝国であり、シルクロードを通じて世界中の文化が集まっており、日本は遣唐使を通じてそれらを吸収したため。 2. モンゴル帝国がユーラシア大陸を支配したことで、東の果てにある日本とも陸路での安全な交易が可能になったため。 3. 聖武天皇が仏教を広めるためにシルクロードを自ら横断し、各地で収集した仏具や美術品を持ち帰ったため。 4. 日本がペルシアやインドと直接の通商条約を結び、定期的に商船が難波津や平城京へ来航していたため。
-
- 問7 奈良時代に編纂された歴史書である『日本書紀』に、飛鳥時代の重要な政治的動向として記録されている事柄はどれか。 (2017年 山形県公立入試 類似)
1. 一遍が各地を巡り歩いた踊り念仏の様子 2. 桓武天皇による平安京への遷都 3. 中大兄皇子らによる大化の改新の進展 4. 平将門が関東で朝廷に対し起こした反乱
-
- 問8 奈良時代に唐から日本へ渡り、唐招提寺を建立した僧である鑑真が、5回もの渡航失敗や失明という困難を乗り越えて来日した主な目的として、最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 新潟県公立入試 類似)
1. 日本に正しい仏教の戒律を伝え、僧侶に資格を授ける授戒の制度を整えるため。 2. 聖武天皇の命令を受け、平城京の都市計画や大極殿の設計を指導するため。 3. 遣唐使の廃止を日本政府に進言し、日本独自の文化である国風文化を確立するため。 4. 比叡山に延暦寺を建立し、最澄とともに天台宗を日本に広めるため。
-
- 問9 律令国家において、成人男子の大きな負担となった税制のうち、各地の絹や布、あるいは魚や塩といった特産物を都まで運び、中央政府に納めるものを何といいますか。 (2025年 福岡県公立入試 類似)
1. 調 2. 雑徭 3. 租 4. 庸
-
- 問10 794年、桓武天皇は都を山背国（現在の京都府）に移し、平安京と名付けました。この遷都が行われた主な目的として、当時の政治状況を踏まえた説明として正しいものはどれですか。 (2020年 沖縄県公立入試 類似)
1. 墾田永年私財法によって広まった私有地（荘園）をすべて没収し、再び奈良の地で公地公民制を復活させるため。 2. 大宝律令を廃止して、中国の唐の制度に頼らない日本独自の新しい法典を平城京以外で作成するため。 3. 東北地方での蝦夷（えみし）との戦いに専念するため、政治の中心地を一時的に東北地方に近い場所へ移した。 4. 平城京で強大になっていた仏教勢力の影響を断ち切り、天皇中心の律令政治を立て直そうとした。
-
- 問11 奈良時代に編纂された書物のうち、中央政府の正史としてまとめられた『日本書紀』や『古事記』と比較した際の、『風土記』の特徴として適切な説明はどれですか。 (2023年 静岡県公立入試 類似)
1. 地方の国ごとに、土地の産物や地名の由来、古くから伝わる伝承などが記録された。 2. 律令制度に基づく税の徴収を目的として、各地の戸籍や土地の面積を詳細に記した。 3. 天皇の系譜や国家の成り立ちを、神話や伝説を交えて年代順に体系化した。 4. 万葉仮名を用いて、天皇から防人、農民まで幅広い階層の人々が詠んだ歌をまとめた。
-
- 問12 7世紀後半、日本（倭）が唐・新羅の連合軍に白村江の戦いで敗れたことをきっかけに、大陸の制度を参考にしながら天皇を中心とする中央集権国家の仕組みが整えられました。この流れの中で、8世紀初頭に制定された法体系を何と呼びますか。 (2025年 京都府公立入試 類似)
1. 墾田永年私財法 2. 十七条の憲法 3. 班田収授法 4. 大宝律令
-
- 問13 律令時代の法令の解説書である「令義解」には、戸籍を6年ごとに作成することや、6歳以上の男女に土地を与える際、男性には二段、女性にはその3分の2を割り当てることが記されています。この制度において与えられた「口分田」の扱いについて、正しい説明はどれですか。 (2020年 長野県公立入試 類似)
1. 生活が苦しくなった場合には、口分田を貴族や寺社に売却することが認められていた。 2. 新しく開墾した土地であれば、口分田として永久に私有することが認められた。 3. 土地を与えられた者が死亡した場合には、その土地を国に返却しなければならなかった。 4. 口分田は家族の財産として、親から子へ代々引き継ぐことが義務付けられていた。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 墾田永年私財法	奈良時代の中頃になると、人口が増えたことで農民に割り当てる口分田が足りなくなりました。そこで政府は、開墾を積極的に進めさせるために「墾田永年私財法」を制定しました。これにより、それまで「公地公民」の原則に基づき国のものであった土地が、個人の所有（私有地）として認められるようになり、のちの荘園へとつながる大きな転換点となりました。
問2	答え 3 中央の都から派遣された国司が、地方の行政・司法の責任者として諸国を治めた	聖武天皇が仏教による平和を願った奈良時代、地方には都から「国司」が派遣されていました。彼らは任期制の官吏であり、中央政府の意向を地方に伝える役割を果たしました。一方、その下の単位である「郡」を治めた「郡司」は、地元の豪族が任命されるのが一般的でした。この中央から人を派遣する仕組みが律令国家の大きな特徴です。
問3	答え 4 律令国家としての威信を内外に示し、天皇を中心とする中央集権的な統治体制を確立するため。	大規模な都の造営は、日本が唐のような進んだ法治国家（律令国家）であることを近隣諸国や国内に示す重要な手段でした。整然と区画された壮大な都を築くことで、天皇が全国を支配する中央集権体制の権威を視覚的に象徴する狙いがありました。
問4	答え 2 戸籍に登録された者のうち、6歳以上の男女であれば身分に応じた広さの土地が与えられ、収穫に応じた税を納めた	班田収授法の特徴は、戸主などの代表者だけではなく、戸籍に登録された「6歳以上の男女」一人ひとりを対象に土地（口分田）を割り当てた点にあります。政府は戸籍を通じて民衆を個人単位で把握し、性別や身分に応じた面積の土地を与える代わりに、収穫物から「租」を徴収することで、国家の安定した財政収入を確保しようとしていました。
問5	答え 1 墾田永年私財法が出され、新しく開墾した土地の永代私有が認められた。	遣隋使の派遣は飛鳥時代（600年～）、院政の開始は平安時代後期（1086年）の出来事です。743年に制定された墾田永年私財法は、その中間の奈良時代にあたります。他の選択肢については、承久の乱が鎌倉時代、参勤交代が江戸時代、地租改正が明治時代の出来事であるため、示された期間にはあてはまりません。
問6	答え 1 当時の唐は広大な帝国であり、シルクロードを通じて世界中の文化が集まっており、日本は遣唐使を通じてそれらを吸収したため。	奈良時代の文化が国際的な性格を持つ背景には、唐の都である長安が「シルクロードの終着点」として機能していたことが挙げられます。長安には西方から多様な文物が流入しており、日本は遣唐使を派遣して唐の優れた制度や文化とともに、間接的に西アジアやペルシアなどの工芸技術やデザインを取り入れました。モンゴル帝国の影響は鎌倉時代の元寇以降の時期に関する記述であり、時代が異なります。
問7	答え 3 中大兄皇子らによる大化の改新の進展	『日本書紀』は720年に完成した、神代から持統天皇までの出来事を漢文で記した正史です。中大兄皇子（天智天皇）らが蘇我氏を倒して着手した大化の改新は7世紀の出来事であるため、この書物の記録対象に含まれます。一方、平安京遷都は8世紀末、平将門の乱は10世紀、一遍の活動は鎌倉時代であり、いずれも書物の完成以降の出来事であるため記述されていません。
問8	答え 1 日本に正しい仏教の戒律を伝え、僧侶に資格を授ける授戒の制度を整えるため。	当時の日本では僧侶の資格が曖昧で、税を逃れるために勝手に僧侶を名乗る者が増えるなどの問題がありました。そこで日本政府は、僧侶が守るべきルール（戒律）を正しく伝え、正式な資格を与えることができる高僧を唐から招こうとしました。鑑真はこの要請に応え、何度も遭難し視力を失いながらも来日を果たし、東大寺に戒壇を設けるなどして日本の仏教制度を整備しました。
問9	答え 1 調	律令制度下の税制のうち、土地に対して課せられる「租」に対し、人に対して課せられる「庸」や「調」がありました。調は各地の特産物を納めるもので、その品目は布、塩、魚など多岐にわたりました。これらの品物は、納税者である農民自身が都まで運ぶ必要があり、非常に重い負担となっていました。
問10	答え 4 平城京で強大になっていた仏教勢力の影響を断ち切り、天皇中心の律令政治を立て直そうとした。	奈良時代の平城京では、大きな寺院の僧侶が政治に深く関与するようになり、天皇の権威が脅かされることもありました。桓武天皇はこうした仏教勢力との癒着を断ち切り、政治を刷新して本来の律令制度の精神を取り戻すために、長岡京を経て平安京への遷都を断行しました。
問11	答え 1 地方の国ごとに、土地の産物や地名の由来、古くから伝わる伝承などが記録された。	風土記は、中央から派遣された国司がその国の情報をとりまとめたものです。朝廷が各地域の資源や文化を把握しようとした目的が背景にあります。一方で、日本書紀や古事記は天皇中心の国家形成の正当性を説くための歴史書であり、記述の対象や目的が異なります。
問12	答え 4 大宝律令	唐・新羅の脅威に対抗するため、日本は法に基づく国家体制の構築を急ぎました。701年に制定されたこの法体系によって、官僚機構や税制、土地制度などが体系化され、律令国家としての基盤が固まりました。白村江の戦いから約40年後の出来事です。
問13	答え 3 土地を与えられた者が死亡した場合には、その土地を国に返却しなければならなかった。	律令制度における班田収授法では、戸籍に基づいて6歳以上の男女に口分田が割り当てられましたが、これはあくまで国から貸し出された土地という扱いであったため、本人が死亡した際には国に返す決まり（収授）がありました。新しく開墾した土地の私有を認めたのは後の「墾田永年私財法」であり、口分田の売買や世襲は禁止されていました。